

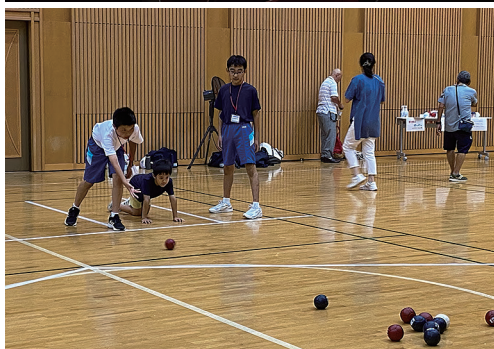
2024/8
No.289

WAC
WONDERFUL AGING CLUB
長寿社会文化協会

2024年8月15日発行 通巻289号
<https://www.wac.or.jp/>
E-mail: iken@wac.or.jp



ふれあい Wonderful Aging Club Network and Communication **ねっと**



▼新理事長に理事の服部万里子氏が就任
—— 升田忠昭前理事長は常務理事に

▼定時総会を開く
—— 前年度事業実績と今年度事業計画を了承

▼コロナ後、各事業は再起動へ

▼全国のWACポイント31拠点の活動一覽

「参加型長寿社会」を目指して



服部万里子
理事長

公益社団法人長寿社会文化協会（WAC）との付き合いは36年前からです。田中尚輝さん（故人）たちとアメリカの全米退職者協会（現AARP）の大会に参加したことを契機に、WACが1988年に立ち上がった頃から続いています。

私は2012年から4年間理事長を務め、再度この度2回目の理事長に就任しました。これから着手したいと考えていることをお話しします。

健康麻雀の大会を

第一は、健康マージャンの全国大会です。各地の活動地域から選ばれた最強チームが集い、相手のチームを替えて戦います。多世代交流の場であり、健康と生きがいづくりの場としても参加者を募ります。

第二は、料理教室を運営しているグループが集まる「自慢料理コンテスト」です。栄養をはじめ見た目やおいしさなどについて、栄養士さんも参加し採点します。全国から自慢料理を推薦してもらい、東京でコンテストを行います。試食会も行います。

M e s s a g e

第三は、来年3月に開催予定のコミュニティカフェ全国交流会にあわせて、各地のポイントの交流会を開きましよう。

一人暮らしの方が増え、孤独、孤立が「人生の毒」と言われています。その中で、コミュニティカフェが豊かな長寿社会を作り出しているという姿を多くの人に示していきたいましよう。

介護サービスの交流の場を

第四は、介護サービスを受ける側も、提供する側も楽しくなるような介護サービスの「実り」の発表を聴いたり質問したりする会です。

介護が必要になっても、介護サービスや福祉用具を活用し、地域で、学校で、職場でその人らしく生きる活動の交流の場になればと思います。ワークサポートケアマネジャーも紹介します。

これを実現するため、次の5つに取り組むことができればと考えています。

- (1) 介護保険制度の論議を地域から起こしていくために講師養成講座を開催します。
- (2) 介護福祉士を目指すWACのヘルパーを支援します。
- (3) 初任者研修、実務者研修の開催を全国で支援します。
- (4) 認知症の在宅支援の基本を知るセミナーを開催します。
- (5) 地域包括ケアを学び、利用者主体の在宅介護を展開しましょう。

新しい市場の開拓を 高齢者疑似体験「うらしま太郎」

WACがすでに取り組んでいる事業の中では、高齢者疑似体験プログラム「うらしま太郎」に力を入れていきたいと思っています。

このプログラムは、東京ガスなどと共同で開発したものです。75歳から80歳ぐらいの高齢期の方々の身体的機能低下や心理的变化を疑似的に体験できるものです。

高齢社会に向き合う人の教育、高齢者向けのサービスや商品開発に携わる方たち向けに活動してきました。

しかしこれからは、新たな分野への市場開拓を考えていきたいと思っています。商品を販売している店頭での商品配置や販売、デイサービス（通所介護）での販売など地域に寄り添う工夫が必要です。

高齢者疑似体験は企業の商品開発や介護者支援、退職防止セミナーなどと連携していくことで、利用分野を広げていくことができると思います。

さらに、小学生が高齢者に向き合う疑似体験「つくし君」についても新しい発想で取り組みます。地域や学校のヤングケアラー支援としても、全国の小学校での体験授業に広げましよう。

最後に強調したいのは、WACの要は地域のポイントにあるということです。ポイントが地域の特性を活かし、独自の取り組みが広がるよう、地域からWACの力が湧き出るようなポイントづくりに全力をかけたと思っています。



WAC 定時総会

収支差はマイナスに 会員減少は続く 理事長の交代を報告

公益社団法人・長寿社会文化協会（WAC）は、6月25日（火曜）の午後2時から、東京都港区の日本女子会館内のWAC会議室で定時総会を開いた。

会員には議決権行使書と委任状を事前に配布していた。当日は13人の会員が顔を見せ参加した。議決権行使書を提出している会員は45人。したがって合計出席者は58人となった。

平野陽子事務局長から、「現在、議決権を有する正会員総数は85人となっています。本日の出席者、出席とみなされる正会員は58人で、正会員の過半数に達しています。これにより、定款第18条に基づき、今総会は成立しています」との報告があった。

続いて平野事務局長から「先日の6月6日の第2回理事会で、升田忠昭理事長から退任の申し出がありました。理事会として了承し、理事の服部万里子さんを新理事長とすることを決めました。升田さんは、業務執行理事（常務理事）として高齢社会NGO連携協議会など外部団体との連携活動を続けて頂くこととなります。以上の人事異動を総会出席者の皆さんにお知らせします」との報告があった。

さらに、平野事務局長から「では、服部さんから御挨拶をお願いします」との発言に促され、服部万里子さんが話した。

「理事長に就任するのは2度目です。1988年にアメリカにAARP（旧称・全米退職者協会）という団体の視察に、W

ACを設立した故田中尚輝さん達と一緒に行ったのが、そもそのWACとの関わりでした。それから介護保険制度ができ、2012年から4年間WACの理事長を務めました。高齢化のもたらす課題は山積しています。特に会員がWACに参加して良かったと実感できる活動を目標にしています。WACが社会から求められていることにひとつひとつ挑戦していきたいと思えます」

次いで、定款第17条の規定により、総会の議長に升田忠昭さんを選出した。升田議長は「まず報告事項からお願います」と呼びかけ、平野事務局長が会員の状況などを報告した。

「個人正会員は、北海道の亀川昌弘さんと宮城県仙台市の佐藤美樹さんが新たに入会しました。退会者は3人でした。ただ、2年間の会費未納者が6人います。事実上の退会者となります。

法人正会員の入会・退会はありませんでした。法人賛助会員のTOPPANエッジ株式会社が退会しました。

ポイントの新しい届け出として、宮城県仙台市の「Coiki」がありました。在留外国人就労者向けの日本語教育活動などを行っている団体で、代表者は佐藤美樹さんです」

その後、議案の検討に入った。第1号議案、第2号議案について、それぞれ担当する業務執行理事（常務理事）が説明した。

第1号議案

2023年度事業報告

猛威を振るった新型コロナウイルス感染症が2023年5月から、5類感染症に引き下

げられました。それまで規制されていた対面や集合形式の研修・集いが再開されました。新年度の開始間もない4月に小林里美事務局長が急逝され、事務局体制の再構築にかなりの時間を要しました。

年度末の個人会員は正会員が88人、賛助会員が489人、配偶者会員が121人となり、合計698人です。前年度から16人減少しました。会員の減少傾向は止まりません。

法人会員は、退会が1社で全12社となりました。法人賛助会員が9社で団体賛助会員が3社です。

23年度の収支実績は、収益事業の高齢者疑似体験事業が目標を大きく下回ったため赤字決算となりました。収入は、前年度より1338万円下回って1億5124万円となり、支出は1億5480万円です。その結果、収支差は355万円のマイナスとなりました。

〈公益事業〉

千葉県福祉ふれあいプラザの指定管理者として、NPO法人ACOB Aと共同事業を進めています。コロナ禍の規制が緩和されましたが、利用者は前年比微増の12万8394人とどまり、利用料収入もほぼ前年並みの2122万円になりました。介護実習センターは計画通りの研修100講座を開催し、介護予防トレーニングセンターの介護予防講習には前年度より約1000人も多い9403人が参加しました。

東京都から認証を受けている福祉サービスの第三者評価事業は、調査に入った事業所は29件となりました。利用者調査は6件でした。



設講座を全10回、埼玉県では埼玉未来大学の専門講座としてコミュニティカフェ開設講座を全12回開きました。また、1日限りの「コミュニティカフェ1DAY講座」を3月にWAC会議室で開催しました。

〈収益事業1〉

高齢者福祉の人材養成事業として自治体などからの委託事業に取り組みました。東京都新宿区では、家族介護講演会と家族会支援ボランティア研修をそれぞれ7月と10月に実施しました。

東京都文京区では「介護人材確保・定着に係る介護の入門的研修」を10月に開き、20人が参加しました。

東京しごと財団では、生涯現役セミナーを60講座開催し、定員1800人に対し1774人が参加しました。家事援助・生活支援セミナーは年6回開催し、40人が参加しました。

〈収益事業2〉

高齢者疑似体験事業は、6月から1月にかけて東京都台東区内の18の小学校で実施しました。1100人の児童が参加しました。

望星薬局（神奈川県伊勢原市）では7月に20人が、千葉県の一宮町社会福祉協議会では10人がそれぞれ体験しました。

自動車部品大手のアイシン（愛知県刈谷市）から要望があり、2月に現地に赴きました。10人の社員が体験しました。

インストラクター養成研修は、静岡県の藤枝市社会福祉協議会と高知県社会福祉協議会にそれぞれ8月と12月に出張してきました。各6人と48人が参加しました。またWAC本部でオンライン研修を6月、9月、

11月に実施しました。高齢者疑似体験事業の収入は507万円にとどまり、目標の1000万円からほど遠く、達成率が半分をやっと上回る程度でした。

〈収益事業3〉

東京都品川区から介護予防事業として2003年度から毎年受託しています。WACポイントの「WACさしすせそ」と連携して運営しています。

男の料理教室、地域活動連携型介護予防事業（わくわくクッキング）、外出習慣化事業（食事処）の3事業です。

コロナ禍のため、ほとんどの事業で参加者を通常の半数にせざるを得ませんでした。升田忠昭議長が出席会員に質問を求めました。服部万里子さんから「高齢者疑似体験の収入が落ち込んだことが問題だと思いません。ニーズは確かにあるはずですが、これまで付き合ひのあった企業や団体のデータを掘り起こすなどして、営業してはどうでしょうか。フレイル予防は市町村にも課題になっていきます」と意見があった。

その後、升田議長が第1号議案について採決に入り、全員が賛成し承認された。

第2号議案

2024年度事業計画

コロナ禍から脱し、WAC本来の活動に力を入れます。社会参加等による生きがいづくり、就労支援、介護人材養成、介護予防などで牽引的役割を発揮しようと思えます。WACポイントについては活動支援に注力するとともに、会員の退会防止、新規獲得に努めます。減少する会員への対策と

して、関係強化のために「つながる委員会（仮称）」を立ち上げていきます。

〈公益事業1〉

千葉県福祉ふれあいプラザは第6期指定管理の申請の年になります。県下のより多くの方々が利用できるように、県民研修や介護予防体操などでオンラインを積極的に活用していきたい。

介護実習センターでは、100講座の県民研修をはじめ認知症啓発イベント、福祉機器展、地域の茶の間、地域の茶の間スペース（認知症カフェ）、認知症の方の家族の集い、働く世代のケアララズカフェなどを開催する計画です。

ふれあいホールでは、サマーコンサートと車いすバドミントン体験会を予定しています。全体の収入予算は前年度を少し上回る8730万円を計上しました。

福祉サービスの第三者評価事業は、引き続き継続していくため事務局スタッフの人員を充実させます。評価件数の目標は25件、利用者調査の目標は6件としました。会員向け情報誌の「ふれあいねっと」は、年間3回の発行を目指して広報活動の強化を図っていきます。

〈公益事業2〉

自治体からの受託事業として就労支援、就職相談会を計画しています。東京都江東区の年2回の「福祉のしごと相談・面接会」を受注しています。

〈公益事業3〉

コミュニティカフェの全国交流会を4年ぶりに計画しています。来年3月に東京都内で開催します。3都県の開設講座受講生

会員向け情報誌「ふれあいねっと」は、2023年8月に第287号を、2024年3月に第288号を発行しました。各12頁で編集し、会員及び関係各所に各1500部配布しました。

〈公益事業2〉

2022年度から無料職業紹介事業をWAC本部事務局で事業継承しています。自治体からの委託事業として、就労支援や就職相談会に乗り出しました。東京都江東区の「福祉のしごと相談・面接会」を9月と2月の2回実施しました。

〈公益事業3〉

コミュニティカフェの開設者養成研修は、千葉県と埼玉県の2カ所で実施しました。千葉県では、千葉県福祉ふれあいプラザの一般県民研修としてコミュニティカフェ開

代表による事業計画発表とテーマ別グループ討論などを計画しています。

また、前年度に引き続きコミュニティカフェ開設講座を千葉県と埼玉県、東京都で予定しています。

千葉県では、千葉県福祉ふれあいプラザのコミュニティカフェ開設講座を県民研修として年間10回開きます。埼玉県では、埼玉未来大学専門講座のコミュニティカフェ開設講座を12回開きます。また、東京都では2、3日のコミュニティカフェ開設講座を開く予定です。

〈収益事業1〉

高齢者福祉関係の介護の入門研修や生活支援サービス研修を自治体や団体から受託する予定です。

今のところ、東京都文京区の「介護人材確保・定着に係る介護の入門的研修」、東京都足立区の「介護・障がいのことと相談・就職面接会」、東京都八王子市の「介護人材確保事業業務」、東京都品川区の「ユニバーサルデザイン普及啓発事業」に取り組む計画です。

また、前年度に引き続き東京しごと財団からの委託事業として、生涯現役セミナーを年間60回開催する予定です。

〈収益事業2〉

高齢者疑似体験事業はインストラクター受講生の退職で、インストラクターが不在となり、体験プログラムが活用されなくなった既取引先が多いです。これら既取引先のデータ整備を図り、インストラクター養成研修を軸に既取引先の掘り起こしを図ります。

インストラクター養成研修は、本部主催で年4回行います。台東区の小学校での体

験研修は6月から既に始めています。

前年度は予算に対して達成率が51%と低迷しましたが、本年度は予算を前年度から100万円だけ下げ900万円としました。達成率の向上を目指します。

〈収益事業3〉

東京都品川区から受託している介護予防事業は、本年度も引き続き行う予定です。「男の手料理教室」は「シニアのためのやさしい手料理教室」と名称が変更されました。すでに5月から始めています。「わくわくクッキング」も5月から始めており、コースは年3回設けています。「外出習慣化事業・食事処」は4月から始まり、年間12回開きます。

本年度から新しく取り組むのが「西大井ワンコインランチ」です。利用者が500



理事会

服部理事長を選出

WACは6月6日に2024年度の第2回理事会を開いた。6月25日に開かれる総会の議案書を検討し、第2号議案として理事長の交代が提案された。

升田理事長より、一身上の都合により理事長職を退任したいとの申し出があった。新しい理事長に服部万里子理事の就任が提案された。

定款第5章第23条2により、理事会で代表理事を選任することになった。理事会では提案を受けて、服部万里子理事の理事長就任を決めた。

円支払うランチづくりです。区内の特別養護老人ホームで毎月1回開催します。以上で収入は、前年度より150万円多い450万円となります。

升田議長が出席会員に採決を求め、全員が賛成し、承認可決した。

総会の出席者は 服部万里子、升田忠昭、平野陽子、小町純一、浅川澄一、濱洋子、鷹野義量、成塚江見子、堀内龍文、昆布山良則、小林弘一、前田宏興、浅川明子（敬称略）でした。

服部万里子

一般社団法人日本ケアマネジメント学会理事。NPO 法人渋谷介護サポートセンター理事長、服部メディカル研究所所長、NPO 法人東京山の手まごころサービス理事長。

城西国際大学、立教大学で14年間社会福祉の教育を行う。病院に勤務しながら看護師資格取得。2000年からNPO 渋谷介護サポートセンターで居宅介護支援の単独事業を始め、現在もケアマネジャーとして活動中。

事業名	収入			支出			収支差			
	予算	実績	達成率	予算	実績	消化率	予算	実績		
事業	公1	ふれあいねっと	0	0%	2,000	2,046	102%	-2,000	-2,046	
		第三者評価	13,000	12,226	94%	13,000	11,162	86%	0	1,064
		千葉指定管理	87,075	86,060	99%	87,075	86,730	100%	0	-670
	小計	100,075	98,286	98%	102,075	99,938	98%	-2,000	-1,652	
	公2	就労支援	2,500	2,247	90%	2,500	3,484	139%	0	-1,237
	公3	コミュニティカフェ事業	800	948	119%	500	1,165	233%	300	-217
	公益事業合計 (A)		103,375	101,481	98%	105,075	104,587	100%	-1,700	-3,106
	取1	受託研修 (生活支援研修等)	32,000	30,495	95%	24,000	30,982	129%	8,000	-487
	取2	高齢者・認知症疑似体験	10,000	5,077	51%	6,000	4,654	78%	4,000	423
	取3	介護予防料理教室等	3,000	4,565	152%	2,000	3,749	187%	1,000	816
収益事業合計 (B)		45,000	40,137	89%	32,000	39,385	123%	13,000	752	
公益事業・収益事業 (A+B) 合計		148,375	141,618	95%	137,075	143,972	105%	11,300	-2,354	
共通	受取会費	2,500	2,557	102%	0	0	0%	2,500	2,557	
	雑収益	8,500	6,899	81%	0	0	0%	8,500	6,899	
	受取寄付金	100	168	168%	0	0	0%	100	168	
	小計 (C)	11,100	9,624	87%	0	0	0%	11,100	9,624	
	管理費	0	0	0%	22,000	10,583	48%	-22,000	-10,583	
	組織運営費	0	0	0%	400	245	61%	-400	-245	
	小計 (D)	0	0	0%	22,400	10,828	48%	-22,400	-10,828	
法人会計合計 (C + D)		11,100	9,624	87%	22,400	10,828	48%	-11,300	-1,204	
公益法人合計		159,475	151,242	95%	159,475	154,800	97%	0	-3,558	

(単位:千円)

2023年度収支実績

年間利用者数は12万8千人で微増に

千葉県福祉ふれあいプラザ

2023年度は、5月に新型コロナウイルス感染症が5類移行となり、諸制約が緩和されました。それにより利用者の大幅増を期待しましたが、年間利用者数は12万8394人と前年の12万2571人から微増にとどまりました。

千葉県福祉ふれあいプラザは、介護実習センター、介護予防トレーニングセンター、ふれあいホールの3部門からなります。まず、研修、相談業務、福祉機器展等行う介護実習センターでは、2万1905人が利用しました。主事業の県民研修は「認知症予防に役立つ情報」などをテーマとした一般県民向け研修を60講座、医療・介護従事者向け専門職研修では介護技術「移動移乗」など40講座を実施し、4470人が受講、事業計画を達成できました。



次に、40歳以上が対象の介護予防トレーニングセンターは、2万9238人が利用しました。とりわけ、介護予防教室の受講者が大幅に増えました。同教室に入る前の基礎体力づくり「ビギナーズ教室」を新設し、これが受講生増加に繋がりました。



また自身の体力向上度を確認する機会として「体力測定イベント」も大好評で、3回実施し2577人が参加しました。

ふれあいホールでは、ホール・ギャラリー通信「ふれあい」を発行、ホールのPRに努め、7万7193人と利用者が増えました。事業としては障害者スポーツ振興のための「ボッチャ教室」を開催。「ウインターコンサート」として「津軽三味線・民族音楽団あべや」の公演を開催し、ホールが満席となる大盛況でした（上の写真と右のチラシ）。

各部門とも工夫を凝らし事業展開を図った1年でした。

スタートした2024年度は、第6期指定管理の申請の年です。8月に募集説明会、9月に応募申請書提出、10月にプレゼンテーション、そして11月には選考結果公表を控え、多忙かつ大事な年となります。開業以来18年目、培ったノウハウをもとに更なる発展と県民に愛される施設を目指し、第6期指定管理獲得に向け頑張ります。

（統括責任者・常務理事／小町純二）

オンラインでインストラクター研修

高齢者・認知症疑似体験事業

疑似体験事業には、高齢者疑似体験事業と認知症疑似体験事業があります。

高齢者疑似体験事業は東京都台東区内の18の小学校で実施しました。3年生から6年生までの1110人を対象に6月から1月まで行いました。

高齢者疑似体験と障害者疑似体験として、車いすの体験をセットにした研修です。体験者に4人から6人のインストラクターが付きまます。1時間目から始める小学校が多く、インストラクターは朝8時に学校に向向き、午前中には終わりました。

高齢者疑似体験のインストラクター研修は、オンラインで3回開催しました。

参加者は、6月に4人、9月に15人、11月に2人でした。

オンライン研修にしたことで、地方の方からは移動の時間と経費の削減になり、参加しやすくなったと言われました。集合研修の良さをとりいれ、グループワークや画面の向こうにいる受講生への細かな対応を行いました。

出張したのは静岡県藤枝市社会福祉協議会と高知県社会福祉協議会です。

高齢者疑似体験セットの販売は部品（耳栓、手袋、サポーターなど）が多く、セットの販売はゼロでした。セットの老朽化もあるので、これまでの購入先に案内などをしてセットおよび部品の販売につなげていきたいと思えます。

（事務局長・常務理事／平野陽子）

高齢者疑似体験セットの貸し出しは、神奈川県望星薬局、愛知県の株式会社アイシンの社員研修、千葉県の一宮町社会福祉協議会などで行いました。

認知症疑似体験事業は、セットの貸し出しを2件行いました。



高齢者疑似体験のインストラクター研修をオンラインで実施し、WAC本部から発信した。

神奈川県立衛生看護専門学校では2年生が対象でした。介護施設に実習に行く前に認知症の人の気持ちや行動についてグループ討議を含め、学ぶ授業です。生徒の多くは認知症の人に関わったことがないようでした。終了後のアンケートには、「認知症の方の気持ちが少し理解できた」とありました。

NPO法人日本福祉ネットワーク協会は、認知症について美容学校（美容師・理容師）の生徒や美容師・理容師（訪問理美容師）に教えており、講義の中に認知症疑似体験を取り入れていきます。

認知症疑似体験のセットは制作してから20年以上経ちました。映像の撮り直しなど改良が必要なので検討していきたいと思えます。

全国交流会を4年ぶりに開催へ

「コミュニティカフェ開設・交流支援事業」

今年度の主な事業はコミュニティカフェ開設講座と全国交流会です。講座は千葉県と埼玉県、東京都で開催します。

10〜12月に全10回で行う千葉講座は、我孫子市の千葉県福祉ふれあいプラザから千葉・船橋両市に出張して、一般県民研修として行います。

今年度は日程の組み立てに苦労しました。2回ある見学会のうち、1回は昨年と同じ市川市の2軒を再び見学先と計画しました。

しかし、団地店舗の1軒は運営していた会社が撤退し、別の事業者が再開する計画ですが、改装が進んでいない状況でした。また、個人経営の1軒はカフェ営業をやめ、コワーキングスペースやレンタルスペースの専門になったため、コミュニティカフェとは言えなくなっていました。

このため、代わりに見学先を探しました。1日に1カ所では物足りないため、電車やバスで移動でき、カフェが近接しているところを探し、船橋市の狭い範囲に5軒ある地域を見つけました。10年前から知っている1軒を除いて4軒を回り、3軒を見学先にしました。

いずれも営業中に15〜20人の見学は難しいため、休業日の土曜に3軒回ることにしました。

主要事業の報告



美味しいコーヒーの作り方を知って、開業するカフェの売り物にしてもらおうと焙煎教室を実施。講座の早い段階で行い、受講生同士が親しくなってもらう目的もある（埼玉講座）

カフェを見学先に入れるなどします。先輩受講生が開いたカフェは新しい受講生にも実現可能のように思われ、見学先としては最適です。

東京は1DAY講座を今年3月に4年ぶりに行いましたが、今年度は来年1〜2月に2、3日で行う予定です。1DAYでは時間が少なく、事業計画を立てるまでには至りません。また、講師が少なくと学べる事例が少ないため、増やすことにします。

また、全国交流会を来年3月に行う予定です。3都県の開設講座受講生代表による事業計画発表とテーマ別グループ討論などを計画しています。

府中市市民活動センタープラッツとともにオンラインで行って4年ぶりの対面での開催は7年ぶりとなります。（理事・コミュニティカフェ事業担当／昆布山良則）

高齢、障害、子どもで29件の評価を実施

福祉サービスの第三者評価事業

福祉サービスの第三者評価事業は、ベテランスタッフの早福千鶴さんと橋詰尚弘さんに支えられて、事務局長の私が責任者として活動しました。それまでの担当者だった小林里美事務局長が昨年4月に急逝し、行政からの入札作業や、個別の案件をあわただしくこなしてきました。

評価したのは全部で29件でしたが品川区からの高齢者施設の入札が16件と最も多くなりました。WACが民間事業者と直接話し合い、評価したのは13件です。そのうち高齢者施設は10件、障害者施設は1件、子ども関連が2件でした。一方、利用者調査は、高齢者施設が3件、障害者施設と児童施設、母子生活支援施設が1件ずつで合計6件となりました。

事務局は評価者と施設との間に入ってマッチングの調整をします。しかし、評価者の中には、体調不良や入院、手術などで事業に関われない方やドタキャンなどが起こり苦労が絶えません。評価者メンバーのグループ分けに難渋することもありました。

東京都が認証する福祉サービス第三者評価事業に、WACが本部事業として取



「とうきょう福祉ナビゲーション」(福ナビ)のホームページに評価結果が掲載されている。

り組みだして約20年になります。

当初のリーダーは当時の研修担当だった町野美和さん(現WAC理事)でした。次いで、町野さんから担当を引き継いだのは藤井紘一郎さん(元理事)でした。

二人とも施設評価者として豊富な現場体験がありました。私は評価者として活動したことはありません。このため、福祉施設そのものについての理解不足のため、電話対応などで戸惑うことがしばしばありました。

施設の名称には、英語や日本語、その組み合わせの斬新な新語、さらに初耳の和製英語などがあり、なかなか覚えられません。それに、「福祉用語」というか似たような用語が多いようです。施設名と法人名を取り違えることもありましたが、すべてのWACの事業に通じるものですが、第三者評価の評価者も年を重ねております。50歳代の評価者は2、3人しかいません。ほとんどが70歳代です。今後の事業をすすめていくにあたり、次につづいていく運営スタッフと評価者の育成に力を入れる必要があると感じた1年でした。

(事務局長・常務理事／平野陽子)

全国の WACポイント 31 一覧

地域で交流し、助け合う活動が広がる

活動内容は、コロナウイルス感染防止のため、中止・変更となっている場合があります。

終活麻雀 WAC 仙台阿佐田哲也の会

村山 健太郎

☎ 984-0823 宮城県仙台市若林区遠見塚 2-18-27 有限会社山宝社内
☎ 090-1377-3188 ㊟ 022-765-2491

高さ 3m にもなるアカザという一年草を使って、仙人や七福神が持っていたといわれる縁起のいい杖を作っています。「アカザ魔法の杖」で商標登録済みで、依頼があれば作り方を教えています。仙台市周辺のお地蔵さんに杖を置く活動も行っています。終活麻雀は月 1 回、第 4 日曜日の午前 10 時から仙台市青葉区一番町の藤ホールで行っています。



「麻雀放浪記」の阿佐田哲也をしのび、その名前を冠したマージャン大会を仙台で行っています。



杖を持ったお地蔵さん

WAC 仙台竹細工趣味の会

庄子 末松

☎ 982-0011 宮城県仙台市太白区長町 1-7-28-1203
☎ 022-248-5958 ㊟ s-take1203@wa3.so-net.ne.jp

原則、第 2・第 4 火曜日に昔懐かしい竹工芸品の作製を通して、会員相互、あるいは地域社会との交流を図り、長寿社会をエンジョイすることを目的に活動しています。作製用の材料は、仙台七夕まつりで使った竹をリサイクルしています。



会のメンバーと庄子代表（前列中央）



ウサギの竹細工

Coiki

佐藤 美樹

981-1106 宮城県仙台市太白区柳生 7-26-5

☎ 022-386-9330 ㊟ miki@coiki.co

㊟ https://coiki.co/

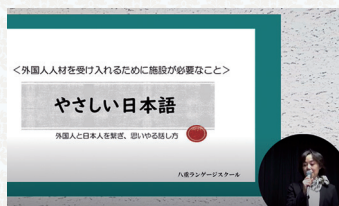
㊟ https://www.facebook.com/profile.php?id=100057602853288

㊟ https://www.instagram.com/tohoku.ken/

在留外国人就労者への日本語教育と、急増している外国人就労者在籍企業へ在留外国人と日本人が「やさしい日本語」を通じてコミュニケーションがとれるよう、「やさしい日本語」研修に力を入れています。日本人が日本語をわかりやすく話すことは、耳が遠い高齢者への話しかけにも有用です。高齢化社会となり、ダイバーシティ（多様性）の尊重が求められる時代に必要な「やさしい日本語」研修は、特にコミュニケーションが必須とされる介護従事者の方に好評です。お互いの歩み寄りが大切なことを伝え、子どもたちの未来のためにも多文化共生社会への礎をつくっていききたいと考えています。ポイント名の Coiki は「ともしに永遠に」という意味です。



技能実習生を初めて受け入れた建設会社の皆さんと技能実習生とで「やさしい日本語」講座を開催しました。



山形県老人福祉施設協議会からの依頼で県内介護職員を対象に行った「やさしい日本語講座」の収録の様子

北海道

わっく室蘭

鈴木 健生

☎ 050-0072 室蘭市高砂町 1-10-17

☎ 0143-45-2034 ㊟ wacmuro@oregano.ocn.ne.jp

「さあ、出てきませんか？」の呼びかけから始まり、今年で 33 年目を迎えます。ボランティア活動、会員の交流行事は現在休止中です。有償ボランティアのヘルパー派遣事業からスタートした介護保険、障害福祉サービス事業を中心に高齢者、障がい者の在宅介護支援を行っています。

東北

WAC 東北ネットワークセンター

金子 賢二

☎ 983-0852 宮城県仙台市宮城野区榴岡 3-2-5

サンライズ仙台 2 階 LSC 内

☎ 090-2845-8901 ㊟ kaneko111@hotmail.co.jp

今年も新しい WAC ポイントの立ち上げを目指します。有志で毎月 1 回読書会を行い、毎回 10 人前後が参加しています。

千の森

千葉 浩

☎ 984-0037 宮城県仙台市若林区蒲町 11-2

☎ 050-3633-3681 ㊟ chiba45946@nifty.com

㊟ https://www.facebook.com/milfille

宮城県名取市にある約 500 坪の畑で農作業体験を行っています。毎月 2～3 回、日曜日を中心に午前中の 2～3 時間活動しています。昨年は 4 月のジャガ芋の種芋の植え付けから始まり、12 月の玉ネギの苗の植え付けで終了しました。季節ごとに旬の野菜を、種播きから始めて完全無農薬で栽培しました。ほんの数 mm の小さな種から生長して、立派な大根やブロッコリーを収穫した時は感慨もひとしおです。季節の移り変わりを目の当たりにしながら、

自然に寄り添っての活動を通して、健やかな笑顔を今年も継続できました。



苗の定植



枝豆の収穫

WAC 翻訳・通訳サービス

金子 賢二

☎ 983-0852 宮城県仙台市宮城野区榴岡 3-2-5

サンライズ仙台 2 階 LSC 内

☎ 090-2845-8901 ㊟ kaneko111@hotmail.co.jp

翻訳・通訳サービスを通して、社会への貢献を旗印に活動中です。有償ボランティアとしての翻訳・通訳サービスの仕事を獲得するとともに、無償ボランティアワークも行っています。

WAC まごころサービスみやぎ

横濱 敬子

☎ 980-0011 宮城県仙台市青葉区上杉 1-16-4 センチュリー青葉 601

☎ 022-215-4353 ㊟ waccare@gol.com

1993 年に活動開始以来、31 年になります。現在は介護事業（訪問介護サービス、居宅介護支援、障害者支援）、独自サービスとして主に家事支援、子育て支援として保育園（小規模保育事業 A 型）を運営しています。人手不足の中、スタッフもヘルパーも高齢化していますが、このままできる限り続けていこうと頑張っています。

千葉ケア企業組合

町野 美和

☎ 261-0011 千葉県千葉市美浜区真砂 1-10-18

☎ 043-278-9298 ✉ machinomiwa@bi-10.net

介護保険事業として、地域密着型通所介護、訪問介護を実施しています。助け合い活動として、通院介助や薬受け取り代行、配食・洗濯サービスなども行っています。介護予防のための健康麻雀も実施しています。



七夕飾りの前で写真に納まるデイサービスまさごの利用者たち



町内会の防災訓練にデイサービスまさごの利用者とともに参加

WAC 千葉

川原 健一

☎ 260-0013 千葉県千葉市中央区中央 1-10-10-406

☎ 043-225-4224 ✉ office@f-angel.jp

地域における介護相談や関連事業の紹介などを実施しています。

渋谷介護サポートセンター

服部 万里子

☎ 150-0046 東京都渋谷区松濤 1-1-3 松濤栄光ビル 4 階

☎ 03-3469-4361 ✉ npo@shibuyakaigo.com

🌐 <http://www.shibuyakaigo.com/>

介護保険開始と同時に NPO 法人（特定非営利活動法人）を立ち上げ、渋谷区民を対象に居宅介護支援（ケアマネジメント）を続けてきました。ポイント活動は第一がケアマネジメントで、24 時間対応しています。第二として毎月ケアマネジャーや地域の介護サービス事業者向けの研修会を開催しています、現代の

話題や介護保険の最新情報などをテーマとして実施しています。2024 年 7 月は「日本の精神科医療の変遷と 40 年間入院させられた当事者の国家賠償請求訴訟」のテーマで、訴訟当事者と日本社会事業大学名誉教授で国立精神・神経医療研究センターの元医療ソーシャルワーカーのお二人に講演していただきました。



NPO 法人の総会を終えて、出席者で記念撮影

WAC さしすせそ

藤井 多津子

☎ 145-0065 東京都大田区東雪谷 4-6-8

☎ 03-3728-6540

✉ jijiwakuroneko@yahoo.co.jp

品川区高齢者介護予防事業を WAC 本部と協働して、「男の手料理教室」（2 カ所）、「わくわくクッキング」、外出習慣化促進「食事処」の 3 事業を行っています。食事処は大井町高齢者複合施設集会所で開き、西大井いきいきセンターの食堂も運営しています。教室内はパーティションも取れ、人数制限はあるものの正常運営に近づきました。



男の手料理教室

WAC 認知症改善相談センター

鹿野 義量

☎ 160-0011 東京都新宿区若葉 1-22-16

四谷 ASTY207 号室（担当：石川裕子）

☎ 03-6380-5205 ㊟ 03-6380-5549

✉ shinshintokyo2018@gmail.com

昨年度は NPO 法人日本心身機能活性化療法指導士会として、国際交流研修大会を 10 月、東京と Zoom で行いました。また、心身機能活性化療法初級・二級指導士認定研修会は東京都、愛知・三重・島根の各県で実施しました。心身活性化教室は青森・栃木・福井・愛知・三重・島根の各県で行いました。「ゲーブルゲーム大会は愛知県で行いました。篠浦伸禎理事長による篠浦塾の「予防医療勉強会」「薬を使わない脳疾患の改善セミナー」で心身機能活性化療法セミナーを東京で開催しました。



心身機能活性化療法初級指導士認定研修会の様子

関東

WAC とちぎ

高村 利夫

☎ 320-0828 栃木県宇都宮市花房本町 5-5 有限会社タスコ 2 階

☎ 028-637-2488 ✉ info@kenkouma-t.com

🌐 <http://kenkouma-t.com/>

月 3 回 原則第 1・第 2・第 3 水曜日 13～17 時に、公共施設を利用して初心者や経験者が気軽に参加できる「健康マージャン教室」を開催しています。マージャン卓・牌の無料貸し出しも行っています。「ねんりんピック健康マージャン種目」栃木県代表選手選考大会の主管団体を担当しています。

WAC ぐんま

後藤 満里子

☎ 378-0061 群馬県沼田市岡谷町 1077-2

☎ 0278-22-0705 ✉ oze-info@oze-nadeshiko.com

🌐 <https://npoozenadeshiko.wixsite.com/website/>

4～12 月に毎月 1 回、苗植えやふまねっと運動、高齢者料理教室、3A 方式認知症予防ゲーム、畑の恵み収穫、しめ縄リース作りなどテーマを変え、コミュニティカフェを行いました。また地域に根差している NPO 法人として、働く方のため、利用者のため、将来自分も利用する身として、介護初任者研修も行いたいと考えています。



運営する学童クラブの子どもたちに野菜づくりを教えています。



子どもたちに蕎麦打ち体験してもらいました。

WAC 浦和 ケア・ハンズ

大麻 みゆき

☎ 330-0073 埼玉県さいたま市浦和区元町 2-5-1 アーバン元町 102

☎ 048-813-1006 ✉ c9a9r5e@nifty.com

🌐 <https://carehands1995.jimdofree.com/>

介護保険枠外でのホーム・ヘルプサービスを実施しています。また、高齢者・障害者への理解、啓発活動として、小学生向け高齢者疑似体験「つくし君」で市内の小学校を回っています。コロナ禍が収まり、学童クラブでも「つくし君」を楽しく実施しました。企業担当者向けにも高齢者疑似体験研修を実施しています。

ふれあいネットまつど

細嶋 千広

☎ 270-2251 千葉県松戸市金ケ作 99-6

NPO 法人たすけあいの会ふれあいネットまつど

☎ 047-710-7450

✉ fnm2011@r4.dion.ne.jp

🌐 <https://fnm2011.okoshi-yasu.com/>

📘 <https://www.facebook.com/fnm2011>

🐦 <https://twitter.com/fnmabc>

元気高齢者のための生活支援ボランティア研修会で、受講生に高齢者疑似体験「うらしま太郎」を装着し、生活のしづらさ、不便さを学んでもらっています。



身体の動きづらさ、目の見え方、物の持ち方、不便さを実際に体験。利用者の気持ちになりました。

ふれあい大綱

佐藤 廣子

☎ 299-3263 千葉県大網白里市柳橋 736-13

☎ 0475-72-5022

✉ fureais@wine.plala.or.jp

🌐 <http://www.fureais.co.jp/>

高齢者疑似体験「うらしま太郎」のほか、居宅介護支援事業、訪問介護事業、サービス付き高齢者住宅の運営、介護職員の初任者研修・実務者研修などを行っています。介護教室も年 4 回行っています。



スーパー店内での高齢者疑似体験

近畿

WAC 近畿ネットワークセンター

高倉 幸次

☎ 525-0055 滋賀県草津市野路町 171-8

☎ 077-562-5357 ✉ koushou@hera.eonet.ne.jp

2022年度は、日本財団助成事業「コミュニティカフェ等、地域共生社会のための活動の担い手育成」の京都会場分をWAC本部と連携して開催しました。WAC さくらんぼ京都と協働で行いました。

ほっとケアまほろば

高倉 幸次

☎ 525-0055 滋賀県草津市野路町 171-8

☎ 077-562-5357

✉ koushou@hera.eonet.ne.jp

認知症予防健康マージャンと認知症予防サロンを月2回、草津コミュニティ支援センターで開催しています。古社寺巡礼など、外へ出る活動を再開しました。



京都・鞍馬寺の多宝塔前で

WAC さくらんぼ京都

石田 淑子

☎ 615-8241 京都府京都市西京区御陵谷町 17-12

☎ 075-392-0443 ✉ nql28521@nifty.com

月2回の掃除と電話による話し相手、安否確認などを行っています。

WAC わかやま

松本 美香

☎ 641-0051 和歌山県和歌山市西高松 1-1-26 A・Tビル3階

☎ 073-435-4555 ✉ wacwakayama@gmail.com

🌐 <https://wacwakayama.wixsite.com/wacwak>

和歌山市の小学校での高齢者疑似体験「つくし君」のほか、月1回の託児グループ「ポピンズ」の活動、和歌山市および周辺でサポートを必要とする和歌山県民の生活支援、保育サポーター養成講座の開催、託児ルームの開設、保育者派遣のコーディネートなどを行っています。

中国・四国

WAC ひろしま健康麻雀サロン

中村 純朗

☎ 733-0852 広島県広島市西区鈴が峰町 43-6-602

☎ 080-3894-8124

毎週水・金曜日、毎月第3月曜日の10～16時に健康マージャンを開催しています。開催中は「耳石」の機能保持のため、1時間ごとに軽運動を行っています。コロナ禍により参加者が激減したまま、前途多難な状態が続いていますが、90歳代の方も3人参加していますので、「灯は絶対に消さない!」と頑張っています。

WAC わをん

重松 美穂

☎ 794-0056 愛媛県今治市南日吉町 2-2-38

☎ 0898-25-3226

✉ wawon@estate.ocn.ne.jp

🌐 <http://wawon-imabari.jp/>

🌐 <https://www.facebook.com/>

NPO法人-わをん-852093854944865/

2023年度は、20年継続している「心の交通パリアフリー疑似体験研修」に対し、四国運輸局長から優良事業者等表彰を頂きました。高齢者・障がい者になっても暮らしやすいまちづくりを目指し、小・中学校の高齢者疑似体験も継続しています。今治市商店街の交流スペース「mi Aire (ミ・アイレ)」では、介護研修・カラーセラピー・介護相談なども実施しており、今年度からは市の委託でヤングケアラー支援も始めました。



中学生と地域住民とのゲーム



商店街の交流スペースの前
に立つわをんのスタッフ

WAC プライム・ケア・トレーニング (WAC P.C.T) 前田 宏興

☎ 241-0836 神奈川県横浜市旭区万騎が原 29

横浜万騎が原行政書士事務所内

☎ 045-391-3501 ✉ gonatuo@gmail.com

介護資格取得セミナーを実施しています。在留外国人に対する資格取得支援を検討中です。

WAC 介護福祉サポートセンター

塚本 肇

☎ 230-0074 神奈川県横浜市鶴見区北寺尾 2-13-18

☎ 090-1769-5602 ✉ tsukamoto.h.0721@gmail.com

介護関係事業を行っています。

Ribinet (福祉理美容師ネットワーク)

戸塚 貴博

☎ 216-0026 神奈川県川崎市宮前区初山 1-38-3

☎ 044-976-9995 ✉ houmonribiyon@gmail.com

🌐 <https://ribinet.com/>

📘 <https://www.facebook.com/ribinetwork>

🐦 https://twitter.com/ribi_net

訪問理美容業界のすそ野を広げ、技術者の雇用促進や専門的で安全性の高いサービスを提供できるように努めています。介護施設だけでなく、一番施術が困難とされる在宅の人に対応できる訪問理美容師を育成しています。

中部

Garage Cafe ホットスペース Myu

三浦

☎ 400-1515 山梨県中央市高部

✉ cij.kofu@tomato.plala.or.jp

健康維持・増進のための「こころと体のセルフケア」として、百歳体操と「キャパシター・こころと体のセルフケア体操」を行っています。居場所機能として、憩いの場「絵本 Cafe」で茶話会、傾聴、読書スペース開放などを行っています。昨年引き続き、地元社会福祉協議会が実施するグリーンケア講習会に協力しています。



お隣に転入された若いご夫婦も百歳体操に仲間入り。百歳体操の中間評価として体力測定を行いました。



出来上がった料理と仲間たち。母国の料理や生活習慣などをみんなでのお喋りし楽しい時間を過ごしています。



ベネズエラの家庭料理に地元のもの添えて

ながの健康麻雀サロン

宮下 文夫

☎ 381-0055 長野県長野市屋敷数田 396-14

☎ 090-3145-7700

毎週水・金・土曜日の10～17時に定期的に開催していましたが、現在は休止中です。再開を目指しています。

WAC 清水さわやかサービス

松本 利枝

☎ 424-0929 静岡県静岡市清水区日立町 24-17

☎ 054-336-8844 ✉ wacshimizu@sepia.ocn.ne.jp

🌐 <http://wac-shimizu.com/>

介護保険事業では、居宅介護支援、自立支援型デイサービス・はたらくデイサービスの2つの地域密着型通所介護を運営しています。さわやかサポートは介護保険外の生活支援、配食などの活動をしています。また、賃貸住宅などの契約が困難な方の支援をする居住支援法人があります。「困ったことをニーズに変える」活動実施中です。

WAC 介護ふじ

佐橋 満智子

☎ 454-0921 愛知県名古屋市中川区中郷 3-337

☎ 052-354-1274 📠 052-351-5002

地域密着型で介護保険制度施行前から「あったか介護」で暮らしのサポートに務めてきました。介護保険制度では、訪問介護、予防専門型訪問サービス、生活支援型訪問サービスなどを実施しています。

『ふれあいねっと』は、個人会員687人（うち個人正会員85人）のほか、以下の法人・団体のご協力により、発行しています。

(N)ウェアラブル環境情報ネット推進機構／
 (-財)高齢者住宅財団／(公財)さわやか福祉財団／(N)SSSネットワーク／(公財)テクノエイド協会／(N)東京山の手まごころサービス／TOPPANエッジ㈱／(-社)日本産業カウンセラー協会／(N)日本心身機能活性療法指導士会／(-社)日本青少年育成協会／久光製薬㈱／(N)りすシステム／YKK AP㈱
 ※五十音順。㈱=株式会社、(-財)=一般財団法人、(公財)=公益財団法人、(-社)=一般社団法人、(N)=NPO法人

表紙の写真は：

右上隅 ●さいたま市南区の「ヘルシーカフェのら」の前で運営者と受講生たち（P7のコミュニティカフェ開設・交流支援事業）

右側の上から ●「フィットネスフェスタ2023」で体を動かす参加者たち ●介護予防講習「ピンピンキラリ初歩麻雀」でマージャンを楽しむ参加者たち（いずれもP6の千葉県福祉ふれあいプラザ） ●「ヘルシーカフェのら」で運営者（左）の話を聴く受講生たち（P7のコミュニティカフェ開設・交流支援事業）

左側の上から ●千葉県福祉機器展でフリーアナウンサー・町亞聖さんの講演を聴く参加者たち（P6の千葉県福祉ふれあいプラザ） ●愛知県日進市で開かれた「心身活性教室」で、「フラハンド有酸素運動」を行う参加者たち（P9のWAC認知症改善相談センター） ●「津軽三味線・民族音楽団“あべや”」によるウインターコンサート ●ポッチャ教室でポッチャを体験する中学生たち（いずれもP6の千葉県福祉ふれあいプラザ）



2024年8月15日発行 通巻289号

発行人：服部 万里子

編集人：浅川 澄一

編集：昆布山 良則

発行：公益社団法人・長寿社会文化協会

〒105-0011

東京都港区芝公園 2-6-8

日本女子会館 1階

TEL：03-5405-1501(代)

FAX：03-5405-1502

制作：岡村直実（JCユニット）

定価 1冊 400円



あなたの暮らしをもっと豊かに、生き生きと 公益社団法人長寿社会文化協会 WACへ 入会しませんか！

WACはWonderful Aging Clubの略
 楽しく年を重ねていきましょう！

個人賛助会員の年会費は3,000円
 会員誌『ふれあいねっと』が届きます
 (個人正会員の年会費は、10,000円)

●WAC会員の特典●

会員が安心してWACの活動に取り組めるよう、会員補償制度を設けています。

●ご入会およびお問合せ●

〒105-0011 東京都港区芝公園 2-6-8 日本女子会館 1階 公益社団法人長寿社会文化協会
 ☎ 03-5405-1501(代)

●年会費のお振込先●

ゆうちょ銀行振替口座 00150-1-33737 公益社団法人長寿社会文化協会

お知らせ

理事会、常務理事会の日程が決まる

WACの理事会と常務理事会の今後の日程が決まった。

理事会は、6月25日に開いた第3回後は、第4回理事会を9月26日（木曜）、第5回理事会を11月28日（木曜）、第6回理事会を2025年2月6日（木曜）、第7回理事会を3月18日（火曜）とすることに決めた。

一方、常務理事会は、第3回を7月19日（金曜）に開いた後、第4回を9月26日（木曜）に、第5回を10月24日（木曜）、第6回を11月28日（木曜）、第7回を12月19日（木曜）、第8回を2025年2月6日（木曜）、第9回を3月6日（木曜）にそれぞれ開くことにした。



定時総会後に開いた第3回理事会（WAC会議室で）

「ふれあいねっと」バックナンバーのご案内

1冊400円、かわら版は1部100円(いずれも税込) + 送料(メール便)でお届けします。代金後払い(郵便為替・銀行振込、手数料お客様負担)です。
在庫がなくなり次第販売終了となりますので、あらかじめご了承ください。

2024年3月号 (No.288)



- Message 高倉幸次 理事
一番ヶ瀬康子元会長との出会い
- 認知症ケアの啓発イベント
「千葉県福祉ふれあいプラザ」
で開催
- 介護保険の訪問介護報酬がダウン
事業者に危機感広がる
ヘルパー裁判、最高裁に
- 「編集長の眼」No.13

2023年8月号 (No.287)



- Message (升田忠昭 理事長)
シニアがいいきと暮らせる社会を
4期目の理事長として
- 定時総会と理事会を開催
升田理事長を4選
コロナ禍でも331万円の黒字
会員減少は続く
- 全国のWACポイント一覧
- 事務局長の小林里美さんが逝去

2023年2月号 (No.286)



- Message (町野美和 理事)
コロナ陽性での気力減退から回復
お泊り日の利用者に寄り添う日々
- 「地域共生ボランティアのすすめ」
仙台市と京都市で開催
子ども食堂、カフェ事業者らが登壇
見学者がボランティア活動の現場で
感じたこと、学んだこと
- 元理事の亀川昌一さんが逝去

2022年8月号 (No.285)



- Message (京極高宜 会長)
「レゾン・デートル」を再認識
- WAC 定時総会
事業収入はマイナスに
コロナ禍で収入減が響く
- 主要事業の報告
地域共生ボランティアの養成講習
苦労しながら再開した品川区料理教室
- 全国の WAC ポイント一覧
- 新人職員紹介

2022年3月号 (No.284)



- 認知症啓発イベント「長谷川和夫先生
が伝えたかったこと」
——長谷川和夫 WAC 元会長の
「認知症ケア」講演記録を視聴
- 「認知症当事者に向き合う先生」
看護師・五島シズさん
- 「働く認知症デイ」に取り組む
WACさわやか清水
- オンラインで高齢者疑似体験の研修
- 「チームオレンジ」の参加者へ研修

2021年12月号 (No.283)



- Message
WAC 勤続 22 年を迎えて
- 成年後見制度
コミュニティカフェを
市民後見の活動拠点に
- 主要事業の報告
コミュニティカフェ講座は対面で開講
22年3月で幕の「みなと＊しごと
55」
- ふれプラの利用者は例年の半数に
- 神聖な会場で国旗の受け渡し
- 「編集長の眼」No.12

ご注文

お送り先の郵便番号、住所、電話番号、氏名、希望の号、冊数を下記までお知らせください。

WAC WONDERFUL AGING CLUB 公益社団法人長寿社会文化協会
E-mail: iken@wac.or.jp ● FAX: 03-5405-1502 ● TEL: 03-5405-1501